

第2部 実施計画の内容

1. 市・市民・事業者の相互信頼を基にした自主的な連携

◎連携・ネットワークの整備：市・市民・事業者・警察等が連携を取り合い、情報の共有化が図れるような各コミュニティのネットワーク整備の推進

事業		事業概要	第3期事業概要	23	24	25	26	備考	
市	(1) 推進体制の整備	① 連携体制の整備 (生活安全室)	・施策を総合的に推進するための 庁内連絡体制の充実。		→				
		② 連絡網の整備 (生活安全室)	・市民・事業者及び関係機関等 と連携し、施策を推進するため 連絡網の活用の充実。		→				
		③ 関係機関との体制づくり (生活安全室)	・犯罪の多様化に応じた施策推 進にあたっての関係機関との 連携の充実。		→				
		④ 交番の適正な配置 (生活安全室)	・防犯対策に配慮した交番の適 正な配置について調整等を行 う。	○	○	○	○	移動交番での対応を検討	
	(2) 市職員による犯罪 被害者の保護及び連絡体 制の整備	① 犯罪被害者の保護 (生活安全室)	犯罪等の現場に遭遇した場 合に被害者の保護を図る。	・犯罪等の現場に遭遇した場 合に、被害者の保護に関して は心情を察した、適切な配慮 や支援を行う。		→			
		② 連絡体制の整備 (生活安全室)	・犯罪等の現場に遭遇した場 合、警察等への通報等の連絡 体制の充実。		→				
	(3) 保、幼、小、中学校 等における安全(防犯) 対策の推進	① 保護者、地域、関係機 関等との連携の充実 (こども部、教育委員会)	・幼児・児童・生徒等の通学時 の安全確保を図るため、積極 的に情報発信すると共に連携 の充実を図る。		→				
		② 通学路周辺及び施設の 安全点検 (こども部、教育委員会)	・定期的に安全点検を実施し、 該当する施設管理者等へ情報 を伝え情報の共有化を図り改 善に努める。		→				
	市民	(1) 推進体制への参 加、協力	① 推進体制への参加、協 力	・連絡網等の整備や連携にあ たって、意欲的に参加、協力し て行く。	●	●	●	●	
		(2) 保、幼、小、中学校 等における安全(防犯) 対策の実施	① 通学時等における子ど もの安全確保	・子どもの安全対策として、声 かけ、緊急時の避難及び保 護、児童への助言、警察等へ の通報等を行う。	●	●	●	●	
事業者	(1) 推進体制への参 加、協力	① 推進体制への参加、協 力	・連絡網等の整備や連携にあ たって、意欲的に参加、協力し て行く。	●	●	●	●		
	(2) 保、幼、小、中学校 等における安全(防犯) 対策の実施	① 通学時等における子ど もの安全確保	・連絡網等の整備や連携にあ たって、意欲的に参加、協力し て行く。	●	●	●	●		

● …………… 実施、作成

○ …………… 検討、調査、調整

→ …………… 継続

2. 市・市民・事業者の協働意識の醸成

◎協働による地域防犯活動の推進：地域における生活安全の拡充に向け、より大きな効果を上げるため各地域において市・市民・事業者・警察等が一体となり、地域防犯活動に取り組む。

事業		事業概要	第3期事業概要	23	24	25	26	備考		
市	(1)地域防犯活動への支援	①犯罪関連情報の提供 (生活安全室)	・犯罪発生状況、発生地区など、犯罪に関する情報提供の充実を図る。					ホームページ(県警ホームページとリンク) 携帯メール		
		②防犯マップの作成 (生活安全室)	・全市を対象とした防犯マップを警察の協力を得て作成し、地域へ提供する。					安全活動掲示板より、防犯(犯罪)マップに変更し、全戸配布		
		③地域防犯活動物品の貸与 (生活安全室)	・地域に根ざし、継続的な自主防犯活動への参加・拡充を図るため、腕章、ベスト等の貸与物品の充実を図る。					地域自主防犯団体 各年度15団体組織化		
		④チラシ・パンフレット等啓発物の提供 (生活安全室)	・地域における犯罪の未然防止に向け、市民一人ひとりの防犯知識の向上と普及に努める。					市民まつり 街頭啓発キャンペーン等		
		⑤防犯パトロールカーによる支援 (生活安全室)	・地域で実施する自主的な防犯パトロールへ防犯パトロールカーで参加し、拡充の支援を行う。					自主防犯団体夜間パトロールへの同行他		
		⑥顕彰の実施 (生活安全室)	・地域で実施する自主的な防犯パトロールへ防犯パトロールカーで参加し、拡充の支援を行う。							
	(2)高齢者等を対象とした施策の検討	①知識の普及・啓発活動 (生活安全室、保健福祉部)	・相談を受ける立場にある民生児童委員、高齢者相談委員等に情報提供を行うと共に、高齢者対象の事業やあじさいクラブにおいて、高齢者に直接普及啓発を行う。							
		②相談窓口の充実 (生活安全室、保健福祉部)	・地域包括支援センターの総合相談機能として、高齢者の消費生活や暮らしに関することも含め、相談の充実を図る。							
		③地域の高齢者見守りネットワーク作りの推進 (保健福祉部、生活安全室)	・認知症等、支援の必要な高齢者の早期発見と見守りの中で異変に早く気づき対処できる地域づくりを推進する。							
	(3)保、幼、小、中学校等における安全(防犯)対策の推進	①「子ども110番の家」の拡充 (教育委員会)	・各小学校区単位に児童・生徒の登下校時の安全を確保するため、協力者の拡大及び制度の充実を図る。					最終目標 1,200軒 「青少年健全育成協力店の拡充」と一本化		
		②「青少年健全育成協力店」の拡充 (教育委員会)	①「子ども110番の家」と一本化							
	市民	(1)地域防犯活動の実施	①地域防犯活動の実施	・習得した防犯に関する知識を活用し、地域一体となって、防犯パトロール等に取り組む。						
			②身の回りの安全点検の実施	・自主、自立を基本に習得した防犯知識を活用し、防犯の視点を取り入れた住まいづくりなど、身の回りの安全点検を行う。		●	●	●	●	
			③地域における安全点検の実施	・地域の住民相互により、連携及び協力して、地域の安全点検に努める。		●	●	●	●	
			④防犯マップの作製支援	・各町会・自治会に設置されている防犯指導員と協力して、防犯マップを作製する。	各町会・自治会において地域実態把握をするための、防犯マップ作製に対し支援を行う。	●	●	●	●	防犯マップの作製方法等の指導他
		(2)高齢者等を対象とした安全(防犯)対策の実施	①地域での連携による支援活動	・地域でパトロール等を行い、地域で連携して、高齢者等を支援する。		●	●	●	●	
		(3)保、幼、小、中学校等における安全(防犯)対策の実施	①「子ども110番の家」への協力	・市が拡充を図っている「子ども110番の家」へ積極的に協力する。						最終目標 1,200軒 「青少年健全育成協力店の拡充」と一本化
			②「青少年健全育成協力店」の拡充	①「子ども110番の家」と一本化						
事業者	(1)地域防犯活動への参加、協力	①地域防犯活動への参加、協力	・防犯パトロールなど地域防犯活動へ積極的に参加、協力する。							
		②事業所の安全点検の実施	・日頃から各事業所における、安全点検を行う。		●	●	●	●		
	(2)高齢者等を対象とした安全(防犯)対策への参加、協力	①地域での連携による支援活動	・地域と連携し、介護専門員等による、防犯に関する指導を行う。 ・地域防犯活動へ積極的に参加、協力する。	・地域と連携し、介護支援専門員(ケアマネジャー)等による、防犯に関する指導を行う。 ・地域防犯活動へ積極的に参加、協力する。	○	○	○	○		
		②「青少年健全育成協力店」の拡充	①「子ども110番の家」と一本化						最終目標 1,200軒 「青少年健全育成協力店の拡充」と一本化	
	(3)保、幼、小、中学校等における安全(防犯)対策の実施	①「子ども110番の家」への協力	・市が拡充を図っている「子ども110番の家」へ積極的に協力する。						最終目標 1,200軒 「青少年健全育成協力店の拡充」と一本化	
		②「青少年健全育成協力店」の拡充	①「子ども110番の家」と一本化							

3. 自主・自立の精神の醸成

◎自らを守る意識の高揚:市民一人ひとりの防犯意識の高揚等に努め、「自分のことは自分で守り、自分たちの地域は自分たちで守る」という、まちづくりの原点に立って、住民自らが防犯意識を保持する。また、地域においてお互いを助け合える関係が醸成できるコミュニティの構築を図る。

事業		事業概要	第3期事業概要	23	24	25	26	備考	
市	(1) 知識の普及と啓発活動の推進	①地域の防犯意識の高揚 (生活安全室)	・防犯協会等と連携し、犯罪情報を市民へ周知する等、広報活動の強化やパトロール等の充実を図り、防犯意識の高揚に努める。						
		②「安全で安心なまちづくり月間」 (生活安全室)	・防犯施策が効果的に展開できるよう、強化月間を実施する各種行事の充実を図る。					毎年10月	
		③広報活動の推進 (企画政策部、生活安全室)	・防犯施策、行事、犯罪情報等を適宜、広報、ホームページ、携帯メール、出前講座等を活用し、推進する。					携帯メール登録数 26年度までに 登録目標6,000件	
		④市民まつりにおける啓発活動 (生活安全室)	・市民まつりに防犯コーナーを設け、チラシや防犯グッズ等を配布し、防犯意識の高揚を図る。						
		⑤事業者への啓発活動 (市民経済部、生活安全室)	・従業員への防犯意識の普及と啓発並びに防犯対策を施した施設の整備等について協力依頼や支援施策を行う。						
	(2) 人材の育成	①研修会や講演会等の実施 (生活安全室)	・人材を育成するための研修会や講習会等を計画的に実施する。						研修会 年2回 講演会 年1回
		②防犯指導員等の育成 (生活安全室)	・防犯指導員等の育成を図ると共に連絡網を充実し、活用を図る。						全町会・自治会に配置
	(3) 保、幼、小、中学校等における安全(防犯)対策の推進	①安全教育の充実 (こども部、教育委員会)	・幼児、児童、生徒等が防犯についての知識を身に付け、安全に避難する方法等についての安全教育の充実を図る。						
		②青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成 (生活安全室、教育委員会)	・全小、中学校の児童・生徒が参加し、防犯活動を展開する「キラット・ジュニア防犯隊」の拡充を図る。						各小学校: 5名以上参加 各中学校: 10名以上参加
	市民	(1) 知識の習得と啓発活動への参加	①地域の防犯意識の高揚	・得られた犯罪情報等を積極的に活用し、地域の防犯意識の高揚を図る。	●	●	●	●	
②知識の習得			・市、警察、各団体等が、開催する研修会や講演会等へ積極的に参加し、地域防犯活動や身の回りの安全点検に活用する。	●	●	●	●		
③啓発活動への参加			・「安全で安心なまちづくり月間」など市や関係機関が実施するキャンペーン、研修会等へ積極的に参加、協力する。	●	●	●	●		
④情報の収集			・広報、ホームページ、携帯メール、出前講座等を活用した情報収集を行う。	●	●	●	●	ホームページ月2回更新 携帯メール毎週火曜配信	
(2) 人材育成への協力		①研修会や講演会等への参加	・「安全で安心なまちづくり月間」など市や関係機関が実施するキャンペーン、研修会等へ積極的に参加、協力する。	●	●	●	●		
		②防犯指導員等の設置協力	・広報、ホームページ、携帯メール、出前講座等を活用した情報収集を行う。	●	●	●	●	全町会・自治会に配置	
		③防犯リーダーを中心とした防犯対策の推進	・「安全で安心なまちづくり月間」など市や関係機関が実施するキャンペーン、研修会等へ積極的に参加、協力する。	●	●	●	●		
事業者	(1) 知識の習得と啓発活動への参加	①地域の防犯意識の高揚	・市、警察から発信される犯罪情報等を積極的に活用し、事業者並びに従業員の防犯意識の高揚を図る。	●	●	●	●		
		②知識の習得	・市、警察等から得られる地域における犯罪発生状況や発生地区などの犯罪情報や防犯に関する研修等を活用し、事業者並びに従業員等の防犯知識習得を図る。	●	●	●	●		
		③啓発活動への参加	・「安全で安心なまちづくり月間」など市や関係機関が実施するキャンペーン、研修会等へ積極的に参加、協力する。	●	●	●	●		
	(2) 人材育成への協力	①研修会や講演会等への参加	・市や警察等により開催される研修会や講演会等へ積極的に参加する。	●	●	●	●		
		②防犯指導員等の育成協力	・防犯指導員、事業所における防犯リーダーといった地域防犯活動を支える人材育成への協力を行う。	○	○	○	○		
		③防犯リーダーを中心とした防犯対策の推進	・地域や事業所における自主防犯活動の積極的な展開と活動の継続、充実を図る。	○	○	○	○		

4. 都市環境整備

◎犯罪防止に重点を置いた都市環境整備：犯罪防止の取り組みは、道路、公園、駐車場といった、公共施設の犯罪が発生しにくいハード面の整備と共に、公共施設等への落書き、ごみの散乱、屋外広告物の氾濫による都市環境美化の損失が、犯罪多発の要因といわれていることから環境浄化というソフト面（＝維持管理）が含まれた都市環境づくりを推進する。

事業		事業概要	第3期事業概要	23	24	25	26	備考	
市	(1) 犯罪防止に配慮した都市環境の整備	①道路照明灯及び防犯灯の整備 (都市整備部、生活安全室)	・犯罪の抑止を図るため、効果的な整備を計画的に実施する。また、スーパー防犯灯の整備についても関係機関へ要望する。	・犯罪の抑止を図るため、効果的な整備を計画的に実施する。また、防犯カメラ等、犯罪抑止設備の整備を図る。	●	●	●	●	新設整備についてはJR津田沼駅南口特定土地区画整理事業関連で実施。
		②公共の駐車場の施設整備や管理運営の強化 (総務部、教育委員会)	・自動車盗難や車上狙いを防止するため、照明等の施設整備や管理運営の強化を図る。						
		③地下式や階層式の立体自転車等駐車場の施設整備や管理強化 (都市整備部)	・防犯に配慮し、照明、カメラ等の施設整備や管理運営の強化を図る。						順次、機械式駐輪機・防犯カメラの導入検討
		④公園における樹木等の配置及び剪定 (環境部)	・情報収集体制を強化し、死角をつくらない樹木等の配置、剪定を定期的実施する。						
		⑤公園における照明灯 (環境部)	・照明灯の適切な整備を行う。						
		⑥公園内の施設の適正な維持管理 (環境部)	・定期点検を実施し、遊具の破損、落書きの除去、ごみの散乱防止等、施設の適正な配置と維持管理を行う。						
		⑦防犯性を考慮した公共建物の整備 (総務部、教育委員会)	・防犯の観点から、死角をつくらない防犯性の高い施設整備を行う。						
		⑧公共施設の防犯に考慮した計画・設計 (教育委員会・都市整備部)	・防犯性を高め、市民が安心して利用できる建物の整備を行う。						
		⑨市有地及び公共施設の安全な環境保持に向けた適正な維持管理 (財政部、総務部)	・安全な環境を保持するため、雑草の除去、建物の管理など、適正な維持管理を行う。						
		⑩通学通園等に使用している公共施設の定期的な施設点検 (教育委員会、都市整備部)	・死角をつくらない樹木等の配置、剪定、照明灯による明るさの確保など、定期的な施設点検を実施する。						
		⑪通学通園等に使用している公共施設の適正な整備及び維持管理 (都市整備部)	・定期的な施設点検により、得られた情報を基に、施設の整備及び維持管理を図る。						通学路・通園路要望対応含む。
市	(2) 保、幼、小、中学校等における安全(防犯)対策の推進	①学校等における安全(防犯)対策管理体制の整備 (こども部、教育委員会)	・安全対策についてのマニュアルを活用し、職員研修、児童・生徒の訓練等を行い管理体制の充実を図る。						
		②侵入者に対する防犯警備機器の活用 (こども部、教育委員会)	・防犯カメラ、緊急通報装置等、防犯警備機器を活用する。						
		③学校等における出入口の限定等、管理の徹底 (こども部、教育委員会)	・保、幼、小、中学校の出入口はできるだけ限定するなど、管理の徹底を図る。						
市民	(1) 私有地及び建物の適正な維持管理	①適正な維持管理	・安全な環境を保持するため、雑草の除去や不審者の侵入防止等、適正な維持管理を図る。						
		②安全点検の実施	・定期的に安全点検を実施する。						
事業者	(1) 私有地及び建物の適正な維持管理	①適正な維持管理	・安全な環境を保持するため、雑草の除去や不審者の侵入防止等、適正な維持管理を図る。						
		②防犯に考慮した施設整備	・ピッキング等に強い鍵の設置や防犯灯の整備等を行う。						